

事務事業実績測定調書

R5調書番号 61

事務事業名称	京阪本線連続立体交差事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	都市整備部			課	連続立体交差課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名		4-1.道路などの整備の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性		選択的事業		区分		一般事務事業		
事業期間	2005 (H17) 年度			年度	～	2028 (R10) 年度			年度まで		
根拠法令等	都市計画法										
関係補助金名称						サンセット				～	
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		踏切による交通渋滞や踏切事故により影響を受ける利用者及び鉄道で分断されている沿線市街地の住民								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		踏切による交通渋滞や踏切事故発生の懸念及び平面鉄道による沿線市街地の分断								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	踏切を除去することで交通渋滞や踏切事故が抜本的に解消するとともに、鉄道により分断されていた市街地の一体化や新たに創出される高架下の有効利用により、地域が大きく発展する。										
事業概要	踏切の除去に伴う渋滞の解消と事故の防止等都市交通の円滑化、平面鉄道で分断化されていた市街地の一体化、新たに創出される高架下の有効利用などを目的に連続立体交差事業を行う。 連続立体交差事業を推進するために、大阪府、寝屋川市、京阪電気鉄道(株)と連携を図り、専門的ノウハウを有する民間機関を活用しながら、迅速で効率的な用地取得に取り組む。										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		連続立体交差事業に取り組み、踏切を除去することで交通渋滞や踏切事故が抜本的に解消する。				連続立体交差事業用地取得率が進捗する。				市域における連続立体交差事業用地を取得する。				
指標設定	指標説明	踏切除却箇所数				連続立体交差事業用地取得率 【算出式: 取得面積／全体面積 × 100】				取得面積				
	単位		箇所		単位		%		単位		㎡			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	0	0	0	0	80	90	100	100	5,500	3,000	3,000	2,300
		実績	0	0	0	0	80	87	92	96	5,500	2,100	1,700	1,300
達成度		－				96%				57%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	8.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	84,070	73,745	67,108		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	84,070	73,745	67,108		
歳入	物件費計	2,175,472	1,589,320	1,216,951	1,124,388	108.2%
	歳出計	2,259,542	1,663,065	1,284,059		
	歳入計 (物件費に充当される特定財源)	1,983,028	1,445,950	1,137,944	1,043,973	
一般財源 (物件費に充当されるもの)		192,444	143,370	79,007	80,415	

5. 総括的分析

総括的分析	収用裁決申請手続きを予定していた難航案件等、粘り強い交渉の結果、任意での契約を行い、概ね予定通りの取得率に達することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、事業用地の取得完了に努め、工事に関連する調整を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 945

事務事業名称	連続立体交差課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	都市整備部			課	連続立体交差課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外							
	施策目標		99.施策体系外							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	R4年度(2022年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	連続立体交差課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.42
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,179	2,344	11,211		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,179	2,344	11,211		
	物件費計	1,254	635	705	2,341	30.1%
歳出計		2,433	2,979	11,916		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,254	635	705	2,341	

5. 総括的分析

総括的分析	市街地整備室内の事務の振り分け等を含み、連携した事務を行う必要があり、室内で情報共有を行い対応した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、課運営事務が円滑に進むように取り組む。